

SS-800 は室内トレーニングマシンのフレームを流用した自転車整備スタンドで、一般的な整備スタンドでは不可能な「乗車しての荷重をかけた状態での整備」も可能にするヘビーデューティなスタンドです。

対応タイヤサイズ

最大 700x45c まで
(ETRTO 47-622)

対応ハブ幅

110mm ~ 165mm
(トラックエンド対応)

製品保証期間：1年間

お買い上げ日から起算して1年間となります。

保証内容の詳細については添付の「製品保証規定」カードをお読みください。

また最新の情報については弊社ウェブサイトをご参照ください。



<使用状態の例>

注意していただきたいこと

- 通常の2輪自転車専用です。内装変速機付きハブには対応していません。
- 26インチ～700cサイズのホイールを想定していますので、小径車で使うと極端に後ろ上がりの姿勢になってしまいます。
- 極太タイヤを装着している場合、タイヤがフレームに接触して取り付けられないこともあります。
- 乗車して使用する場合は、必ず水平で平坦な場所で行なってください。傾斜している場所だと転倒の恐れがあります。
- クランプできるハブ幅はピストも許容してありますが、後輪ハブ軸を挟むカップリングの形状のため、ナット式ハブの自転車は単にクランプして装着するまでで、乗車することはできません。
- 装着する自転車を最大限安定させるため、後輪のクイックリリースは同梱のものに交換してからお使いください。
- SS-800に負荷装置を取り付けて室内トレーナーにアップグレードすることはできません。

問い合わせ先

もし何かわからないことがあった場合は、まずお買い求めになった**販売店**にお問い合わせください。
もしそこで十分な情報やサービスを受けられない場合に限り、下記までお問い合わせください。

株式会社 箕浦 (製造元)

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1
Phone (0584) 27-3131 Fax (0584) 27-7505
Mail minoura@minoura.jp Web www.minoura.jp

株式会社 フカヤ (販売元)

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-37 フカヤビル 3F
Phone (052) 228-8910 Fax (052) 228-8917
Web www.fukaya-nagoya.co.jp

クイックリリースの交換

SS-800 に装着した自転車を最大限安定させるため、お使いになる自転車後輪のクイックリリースを添付のものに交換します。



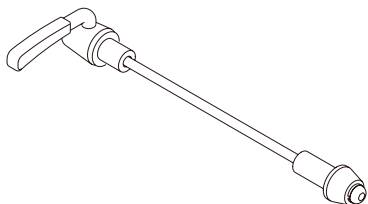
後輪ハブがクイック式ではなくハブナット式のものはハブシャフトの交換そのものができませんので、そのままお使いください。

ただし SS-800 のカップリング形状はハブナットを強力にクランプすることができないため、SS-800 に装着した自転車には絶対に乗車しないでください。



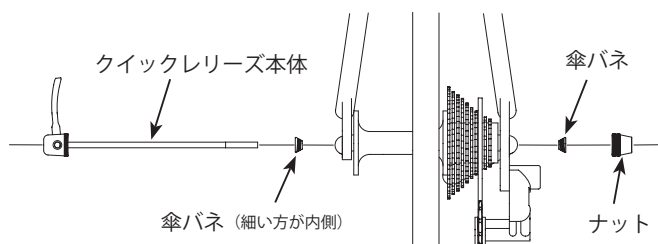
後輪ハブがクイック式ではなく 12mm スルーアクスル式だった場合は、そのままでは自転車は装着できません。オプションの「トレーナー用 12mm スルーアクスルアダプタ」(下図) を用いて、後輪ハブの両端に SS-800 がクランプできる突起を設ける必要があります。

なおこのアダプタには、フレームにねじ込むネジピッチサイズによって全部で 5 種類のモデルが存在しますから、必ずお使いになる自転車に適合したものを選択してください。



1

まず自転車に付いているクイックリリースを取り外します。倒してあるレバーを起こして締め込みを緩め、ナットを緩めて外します。ナット側の傘バネも一緒に取り外しておきます。



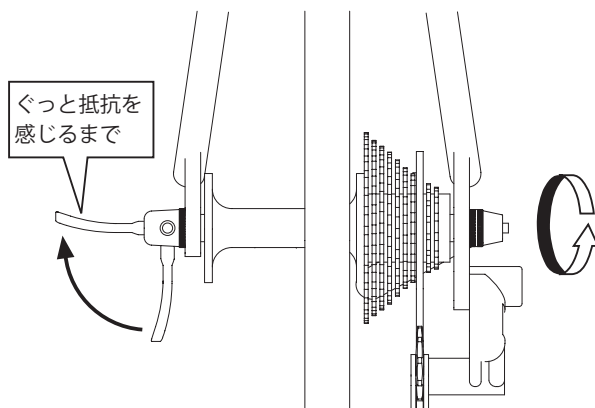
2

SS-800 に付属のクイックをシャフトに左側の傘バネを通してから後輪の左側から差し込み、反対側にバネとナットをねじ込んで取り付けます。ナットの締め込みはまだ適当なままです。

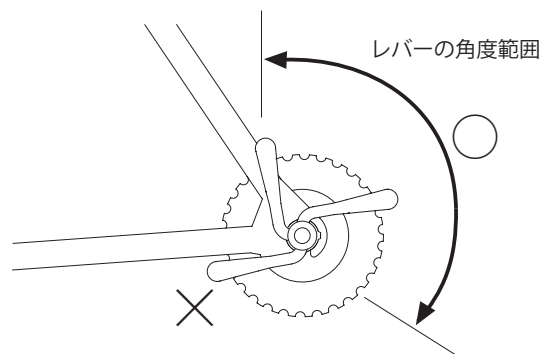
いっぱい開いたクイックリリースのレバーを起こしていき、シャフトとほぼ平行になるくらいになったときに初めて抵抗を感じるようになるまで、ナットの締め込み加減を調整します。



傘バネは細い方が内側です。

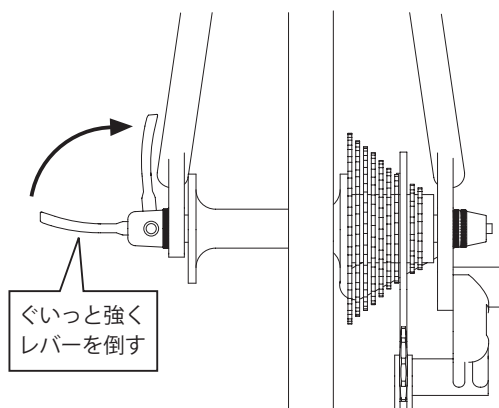


クイックリリースのレバーの向きは左正面から見て時計の 12 時から 4 時までの間にしてください。それ以外では、SS-800 に取り付けられた自転車が荷重で外れ脱落してしまうおそれがあります。



3

クイックリリースのレバーを手のひら(親指のつけね部分など)に当て、ぐいっと力強く締め込みます。手のひらにレバーの跡が残るくらいの力が必要になります。



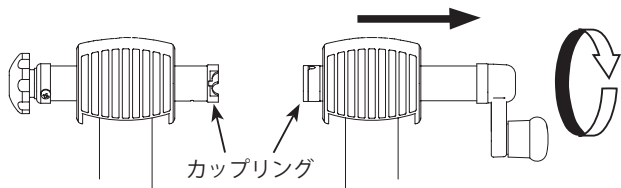
レバーを締め込む際に、車体がちゃんと正しく直立しているかどうかを確かめてください。



レバーの締め込みが緩いと、乗車した際に突然後輪が外れて落車するなどの事故につながります。

自転車の取り付け方

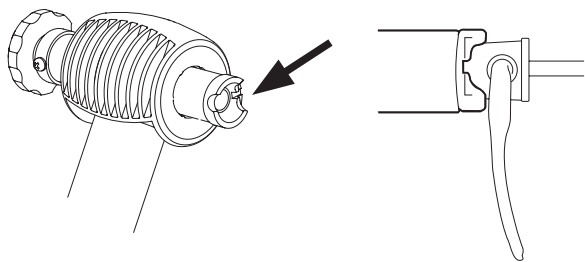
- 1** まずはじめに、後輪ハブ軸を左右から挟み込むカップリングをあらかじめ広げておきます。カップリングの移動はそれぞれノブやハンドルを回して行ないます。



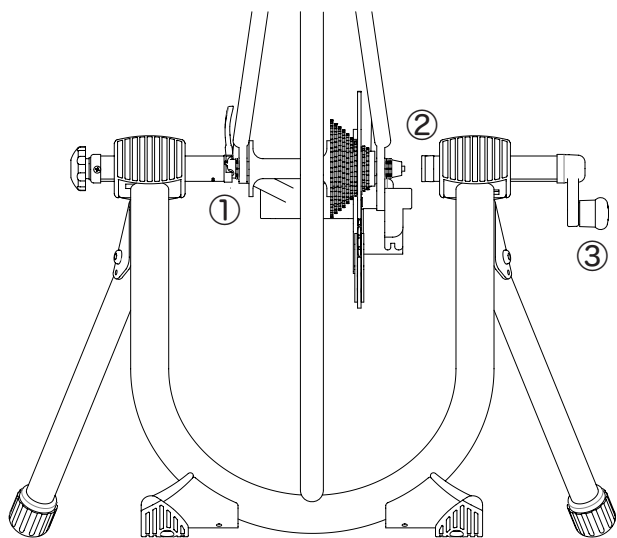
左側は、パイプがほぼ
左右均等になるくらい
右側はできるだけ右に
寄せておきます

- 2** 左側のカップリングには、クイックリリースのレバーの根本がカップリングの縁に乗り上がってしまい確実な締め付けができなくなることを防ぐために、大小各1ヶ所の切り欠きが設けてあります。

あらかじめ先端カップリングを回して、大きい方の切り欠き（矢印部分）をクイックリリースのレバー位置に合わせておいてください。

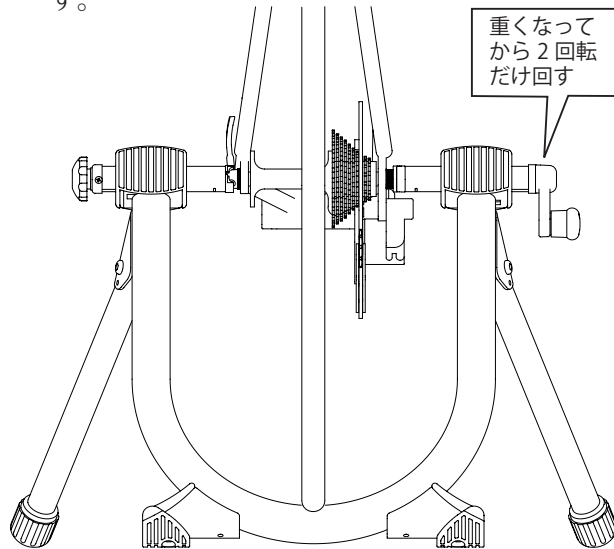


- 3** ①まず左側（クイックのレバー側）カップリングに後輪ハブ軸の左端を挿入します。
②そのまま自転車を下げていき、後輪ハブ軸の右端を右側カップリングと同じ高さにします。
③そのままハブクランプハンドルを右向き（時計回り）に回していき、後輪ハブ軸を左右から挟み込みます。



右側カップリングを噛み合わせる際は、リアディレーラのケーブルを誤って挟んだり無理に曲げたりしないように注意してください。またケーブルはカップリングの上を通すようにしてください（特にスラムの場合）。

- 4** ハブハンドルを締めていくと途中から重くなります。そこがカップリングがハブ軸を挟み込み始めた位置になります。そこからさらに2回転だけハンドルを回します。



必要以上にハンドルを回しても、フレームを無理に広げていって破損させてしまうだけで挟み込みの力は変わりません。2回転だけにとどめてください。

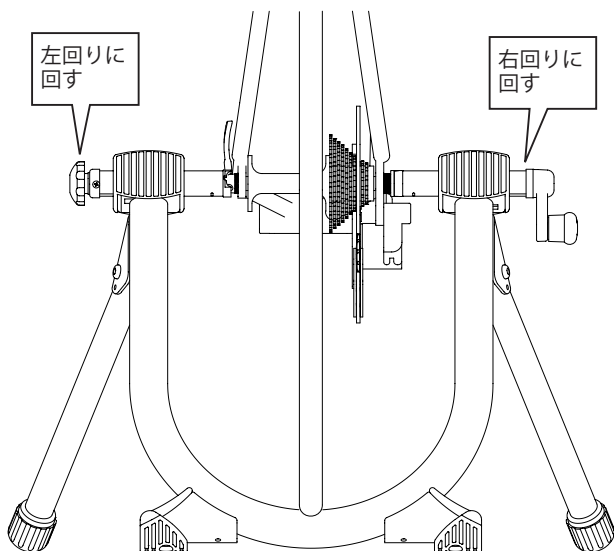
自転車位置の左右調整

SS-800に自転車を取り付けたと、真後ろから見て、自転車がSS-800のほぼ中央にあることを確認してください。

左右いずれかに片寄っていたとしてもタイヤがフレーム等に接触さえしていなければ使用に支障はありませんが、最適な位置は中央です。

たとえば車輪を左側に移動させたい場合は、右側のハブクランプハンドルは右向きに、左側のノブは左向きに、同じだけ回します。

こうして自転車を左側に送っていくわけです。



自転車を外すときは、右側のハブハンドルだけを回して行なうと、次の再セットが楽になります。